

●2018 年度上期（2018 年 4 月～9 月）の来札観光客数の状況について

札幌市では、このほど 2018 年度上期（2018 年 4 月～9 月）の来札観光客数の状況調査結果をまとめましたので、お知らせします。

1 調査結果概要（詳細別紙）

(1) 来札観光客数

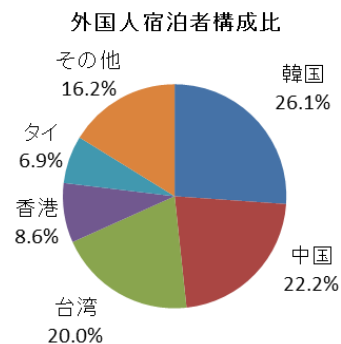
来札観光客数は、上期として過去最多の約 966 万 1 千人で、前年度の約 946 万 7 千人と比較すると約 19 万 4 千人（前年度比 2.0%）の増加。

(2) 外国人宿泊者数

外国人宿泊者数は、上期として過去最多の約 120 万 9 千人で、前年度の約 110 万 9 千人と比較すると約 10 万人（前年度比 9.0%）の増加。

【国・地域別の外国人宿泊者数】

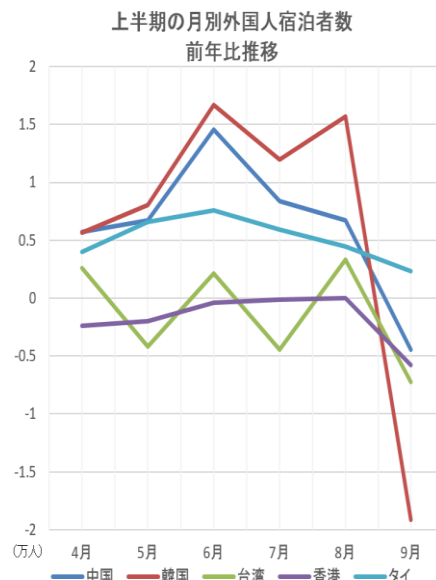
順位	国・地域	宿泊者数	対前年度比	前年度 上期
1 位	韓国	315,576 人	14.1%増	1 位
2 位	中国	268,346 人	16.4%増	3 位
3 位	台湾	242,435 人	3.1%減	2 位
4 位	香港	103,838 人	9.4%減	4 位
5 位	タイ	83,785 人	58.4%増	5 位



※上位 5 つの国・地域で全体の 83.8%を占め、外国人宿泊者総数の 92.5%をアジアで占めるという結果となった。

2 分析・要因

- 北海道胆振東部地震の影響を受け、宿泊キャンセルが相次いだほか、旅行の手控えにより観光客数が伸び悩んだことにより、9 月の来札観光客数は、前年同月比で約 23 万 3 千人、外国人宿泊者数は約 3 万 7 千人減少している。
- 4 月～8 月の前年比では、来札観光客数が 5.5%増加、外国人宿泊者数が 14.4%増加と、いずれも堅調に推移し、地震による影響があったものの、上期全体では増加している。これは、国内外でのプロモーションや SNS を通じた情報発信など、継続的に行ってきた観光客の誘致に係る取り組みの効果が表れているものと考えられる。



- 外国人宿泊者数の増加要因については、タイのバンコクや韓国の釜山と新千歳空港を結ぶ新たな航空会社が参入したことが考えられる。特にタイからの宿泊者数は前年度比で 5 割以上増加し、全体的な外国人宿泊者数を押し上げる要因となった。

3 2018年度下期（2018年10月～2019年3月）の観光客誘致に向けた主な取り組み

(1) 観光需要の早期回復に向けた取り組み

- ① 市長・副市長による中国や韓国、東南アジアなどにおけるトップセールスの実施
- ② 東アジアや東南アジアからのインフルエンサー招請による、SNSでの札幌の魅力や安全で活気にあふれた札幌の様子発信
- ③ 海外メディアの招請による、地震前と変わらない札幌の魅力発信
- ④ 韓国・台湾・香港に向けた、観光需要を喚起するPR番組の制作・放映
- ⑤ 観光客誘致のための取り組みや、滞在中の満足度を向上させるための取り組みを補助する、さっぽろ観光震災復興支援事業の実施
- ⑥ 札幌公式観光サイト「ようこそさっぽろ」やSNSなどを活用した情報発信の強化・拡充
- ⑦ 海外旅行博への出展やSNSなどを活用した定山溪温泉への誘客プロモーション

(2) 観光客誘致の推進

- ① 新千歳空港への国際線誘致に向けた、海外航空会社や旅行会社の招請
- ② 道内からの来札宿泊者の増加を図る「道民限定！泊まろうさっぽろキャンペーン」の実施
- ③ 「日本新三大夜景都市」である札幌の夜景を満喫できるキャンペーン「札幌よくばり夜景旅」の実施
- ④ 「ラグビーワールドカップ 2019TM日本大会」の札幌開催の機会を捉え、欧州や豪州への観光プロモーションの実施

(3) 観光イベントの魅力アップ

- ① さっぽろ雪まつりの開催70回目を記念した、先端技術を活用した雪まつりの魅力アップや、地震からの復興支援の取り組みなどの展開
- ② さっぽろホワイトイルミネーションを、13年ぶりに駅前通会場（北大通～北3条）においても実施

問い合わせ先

経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課 庄中、宮谷内

電話：211-2376 ファクス：218-5129